

所報 (IERS Activity Reports)

「教育研究」では、43号より、所報をホームページ上に移行してきましたが、教育研究所自体の活動内容が把握しにくいという声もあり、本号より教育研究所が独自に行っている講演会および各種プロジェクト等の報告を掲載することになりました。今年度の研究所の活動として、以下の3つを取り上げ、それぞれについて報告します。

Beginning with Vol. 43 of *Educational Studies*, the 'Research Activities' section was transferred from the journal to the IERS Website (<http://subsite.icu.ac.jp/iers>) under a sub-page entitled *Research Activities*. This information will continue to be posted to the website and updated as appropriate to reflect the academic and research interests of members of the Institute. However, since we have received several comments to the effect that it is difficult to keep abreast of the Institute's activities through the website alone, a summary of Institute activities for the preceding year, including public lectures, the Bilingual Children's Educational Project (BCEP), and the Jissen-Share-No-Kai Project (Japanese language Education for Children) will be included in each issue of *Educational Studies*, beginning with the present volume.

2002年度 教育研究所 公開講演題目および講演者リスト

2002 IERS Public Lecture: Titles & Lecturers List

| Date | Title | Lecturer |
|-----------------|---|--|
| May 2 2002 | The Reality of Japanese Language Teaching to Non-Japanese Children in Tokyo | Rie Taniguchi (Nerima Board of Education) |
| May 14 2002 | The Role of Christian Schools and Colleges in the Indian Educational System | Suneel Bhanu Busi, Ph.D. (Gurukul Lutheran Theological College and Research Institute) |
| May 30 2002 | Utilizing Information & Communication Technology (ICT) for Liberal Arts Education | Gerhard H. Schepers, Ph.D. (ICU) |
| June 11 2002 | Japanese Language Education in Singapore | Toshiko Yamaguchi, Ph.D. (National University of Singapore) |
| Oct 25 2002 | Attitudes of College Students and Adults toward Recent Social Misconduct and Criminal Activity in Japan | Akira Hoshino, B.A. (Japanese Society of Community Psychology) |
| Nov 8 2002 | Globalization and Higher Education Reform: Social and Policy Implications | Wong Suk-ying, Ph.D. (Chinese University of Hong Kong) |
| Dec 12 2002 | Acculturation and Adjustment of Immigrant Students in U.S. Schools | Dina Birman, Ph.D. (University of Illinois at Chicago) |
| Feb 10 2003 | Juvenile Delinquency and Education in the United States | Joan McCord, Ph.D. (Professor of Criminal Justice, Temple University) |

バイリンガル児童教育プロジェクト

Bilingual Kids Education Project

The Bilingual Children's Educational Project (BCEP) is an ongoing program in association with the IERS. By the end of January 2000, the project had completed its initial stage of designing a curriculum, readjusting the proficiency level of the participants, and assessing the teaching materials. In the past three months, a significant amount of data regarding the above areas had been collected. Every lesson has been carefully planned by the teachers involved and video-taped for future analysis. Interesting findings thus far include the nature of the involvement of non-teacher parents, the co-ordination and training of such teachers, the feasibility and application of the immersion program for particular children, the forming of a bilingual/multilingual identity by children, and the children's consciousness of their multicultural background. On December 21st, 2002, the BCEP offered a public performance of "Wind in the Willows" choreographed and directed by ICU Professor and former IERS director, John C. Maher. The success of this venture has encouraged the BCEP to schedule an even more ambitious performance of this production scheduled for May 31st, 2003.

実践シェアの会

Jissen Share no Kai (Japanese Language Education for Children)

『実践シェアの会～子どものための日本語教育の実践を共有しよう～』

実際に現場で子どもたちに教えている者同士が、実践を共有しあいネットワークを作っていこうという目的で作られた会です。実際に行った授業や実践を参加者同士で報告し合い、みんなでディスカッションをし、さらにフィードバックできる会にしたいと考えています。年2回、夏と冬に報告会を予定しています。

2000年12月に立ち上げ報告会を行い、それに引き続き、今年の冬で第五回報告会を迎えることになりました。毎回、国際基督教大学教育研究所から後援をいただいております。教諭、講師、ボランティアなど様々な立場で、現場で子どもに日本語や教科を教えたことのある人たちが、毎回、60名近く、全国、さらに海外から参加しています。また、現場の実情を知ってもらうために、文部科学省の担当者にも参加をしてもらっています。

発表は、日本語や教科指導方法、教材開発、支援体制、母語教育、国際理解教育など幅広い内容になっています。参加者と報告者は、実践内容について質疑応答、アイディア交換、議論などを行なっています。さらに、全員でネットワーキングを行える時間も設けています。子どもの日本語教育においても、このように実践を共有する会はほとんどないので、様々な方面から注目されています。

ホームページアドレス：<http://www.ceres.dti.ne.jp/~trie>

問合せ先：実践シェアの会 代表 谷口理恵 trie@ceres.dti.ne.jp

以下報告者名と報告内容

立ち上げ報告会

2000年12月23日(土) 10:30~17:00 国際基督教大学教育研究棟Ⅱ第3会議室

1. 大上 忠幸 練馬区教育委員会

非漢字圏生徒の「書く」指導

2. 川村 朝子 板橋区立新河岸小学校
日本語がわからなくても解ける究極の算数文章問題を解く方法
3. 濱村 久美 渋谷区立神南小学校
国語の教科学習につなげる教材の工夫 ―絵本や漢字カード等を利用して―
4. 森 和枝 港区立筈小学校)
人間っていいな ―個に応じた日本語指導と国際理解―
5. 大蔵 守久 波多野ファミリスクール
「～するとどうなる？」 ―遊びながら慣れよう接続詞の「と」―
6. 谷 啓子 練馬区教育委員会
教科書のことば ―算数セットを使って(小2)―
7. 室井 佳子 調布市立第一小学校
「翻訳通知文」作製について
8. 矢崎 満夫 渋谷区立神南小学校
異文化交流アクティビティ「宇宙船地球号の旅」とその効果

第2回報告会

2001年7月22日(土) 10:30~17:00 国際基督教大学教育研究棟Ⅱ第3会議室

1. 伊東 祐郎 東京外国語大学(府中日本語実践(FNJ)の会:東京都内小学校で実践)
「初めての教科指導実践からの気づき:「i+1」」
2. 金 早苗 (社)国際日本語普及協会
「かんじだいすき」を使って
3. 佐々木玲子 旧八王子市長房小学校日本語学級
「日本語学級移管に際しての行政への働きかけ」
4. 高橋 悦子 川崎市総合教育センター
「日本語教師の役割」
5. 松本 恭子 南山大学大学院 (名古屋市内の公立小学校での実践)
「子ども達の様々な『書く』を応援する ―5年間の日本語学級の活動を通して―」
6. 星野 直人 東京都八王子市立第六小学校
「小学校日本語国際学級現場から」

第3回報告会

2001年12月22日(土) 10:30~17:00 国際基督教大学教育研究所Ⅱ第3会議室

1. 市川 昭彦 群馬県大泉町立大泉北小学校
「外国人子女教育を算数科で取り組んでみて」
2. 川村 朝子 東京都板橋区立新河岸小学校
「国語単元から日本語授業を切り出す」
3. 齋藤ひろみ 東京学芸大学海外子女教育センター
「取り出しクラスにおける日本語指導の実践事例 ―活動をベースにしたテーマ学習の試み―」
4. 船見 和秀 いろはキッズ主宰
「ボランティアによる教科学習支援 ―『いろはキッズ』および三重県のような活動を通して」

5. 三田美佐子 元大和定住促進センター講師
「学校内での支援者の連帯に向けて ―学校生活の全体像の把握から見えたこと―」
6. 山中 文枝 茨城県神栖町立軽東小学校
「ひろこさんのたのしい日本語のテキストを使って」

第4回報告会

2002年7月20日 11:00～17:00 国際基督教大学教育研究棟Ⅱ第3会議室

1. 森 和枝 港区立赤坂小学校
「国語の教科書を使っての日本語指導」
2. 谷口 理恵 練馬区教育委員会
「絵を描くアプローチによる作文指導 ～4ヶ月間の日本語学習で都立高校合格の事例より～」

第5回報告会

2002年12月22日（日）開催

1. 関口 明子 （国際日本語普及協会）
「日本語ボランティアとの連携 ―自治体のサポートによる子どものための日本語教師養成講座を実施して―」
2. 吉田 麻子 （「風の会」茨城県つくば市立吾妻小学校・中学校における日本語補習グループ）
「読解教材を考える（仮）」
3. 松岡 由佳 （名古屋外国語大学大学院生；三重県の公立小学校における実践）
「ブラジル人児童は算数文章問題をどのように解いているか？：理解度を測る一つの試み ―三重県内での実践」